

平成29年度

第6回いわき市教育委員会議事録

平成29年9月20日（水）

## 第 6 回 教 育 委 員 会 記 録

- 1 開会年月日 平成29年 9 月20日(水) 午後 1 時30分
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席委員
- |          |         |
|----------|---------|
| 教育長      | 吉 田 尚   |
| 教育長職務代理者 | 馬 目 順 一 |
| 委 員      | 蛭 田 優 子 |
| 委 員      | 山 本 もと子 |
| 委 員      | 根 本 紀太郎 |
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のために出席した者の氏名
- |                     |         |
|---------------------|---------|
| 教育部長                | 柳 沼 広 美 |
| 教育部次長兼総合調整担当        | 松 島 良 一 |
| 学校教育推進室長            | 渡 邊 賢 晃 |
| 中央公民館長              | 鈴 木 静 人 |
| いわき総合図書館長           | 夏 井 芳 徳 |
| 教育政策課長              | 緒 方 勝 也 |
| 施設整備課長              | 緑 川 安 彦 |
| 参事兼生涯学習課長           | 緑 川 直 行 |
| 学校教育推進室学校教育課長       | 塚 本 英 樹 |
| 学校教育推進室学校支援課長       | 木 村 丈 二 |
| 参事兼文化振興課長           | 鈴 木 常 夫 |
| こどもみらい課長            | 藁 谷 嘉 人 |
| 総合教育センター所長          | 高 崎 康 行 |
| 事務局統括主幹兼教育政策課長補佐    | 井 坂 泰 一 |
| 施設整備課主幹兼課長補佐        | 佐 藤 孝 之 |
| 生涯学習課主幹兼課長補佐        | 藤 原 良 基 |
| 学校教育推進室学校教育課管理主事    | 菅 野 輝 義 |
| 学校教育推進室学校教育課長補佐     | 金 子 一 平 |
| 学校教育推進室学校支援課主幹兼課長補佐 | 齊 藤 友 学 |
| 美術館主幹兼学芸課長          | 杉 浦 友 治 |
| 文化振興課埋蔵文化財専門員       | 矢 島 敬 之 |
- 6 書 記 教育政策課主任主査兼総務係長 草 野 康 弘
- 7 閉 会 午後 2 時15分

## 会議の概要

**教育長** それでは、平成29年度第6回いわき市教育委員会を開催いたします。

欠席委員の通告はありません。

書記には草野主任主査（兼）総務係長を任命します。

会期は本日限りとします。

議事録への署名委員は、本日出席された委員の皆様をお願いいたします。

それでは、教育長の報告（1）好間第三小学校の再編について、教育政策課長をお願いします。

**教育政策課長** 資料の1頁をご覧ください。

教育長の報告（1）好間第三小学校の再編について、ご説明申し上げます。

はじめに経過についてですが、好間第三小学校は今年度の児童数が7人まで減少したことから、「学校のあり方」基本方針における、「子どもたちを主役に考える」、「住民の意向を尊重する」、「協働・連携を促進する」の3つの視点に基づきまして、より良い環境を持続的に提供するには、一定規模の児童が集う環境が望ましいものと考え、今年度、保護者の方々との意見交換を実施してきたところであり、保護者からのご意見等を踏まえまして、去る8月7日に地元の区長、学校評議員等の皆様に対し、今年度末を以って好間第三小学校を廃校としたい旨の説明を行いまして、合意を得たところでございます。

次に、保護者との意見交換及び地元説明会での主な意見ですが、まず保護者との意見交換につきましては、7月に3回実施いたしました。

主な意見としましては、6年生4名が卒業し、5年生2名と4年生1名の3名になってしまつては学校行事の開催も難しい。

少人数の良い面もありますが、子どもたちに競争心が芽生えず、また、中学校に入学したときに、コミュニケーションがうまくとれるか心配である。

残った3名は、来年4月からの転校を希望する、というご意見をいただきました。

また、8月7日に開催した地元説明会におきましては、学校がなくなってしまうのは大変残念だが、保護者の希望を尊重するとやむを得ない、廃校を了承することとございました。

以上のことを踏まえまして、教育委員会としての再編の方針ですが、全ての保護者が来年4月からの転校を希望しており、地元からの合意も得られたことから、好間第三小学校につきましては、今年度末をもって廃校とする考えでございます。

最後に今後のスケジュールでございますが、10月には、いわき市立小学校及び中学校条例から同校を削除する改正について、教育委員会に議案を提出いたします。

さらに、11月の市議会にも同条例改正の議案を提出いたします。

12月からは、通学区域の変更について通学区域等審議会での審議を経まして、3月までには記載のとおり所要の手続きを行ってまいります。

2頁には、参考としまして、好間第三小学校の主な沿革と、児童数等の推移について記載しておりますので、ご覧いただければと思います。

説明は以上です。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問がありましたらお願いします。

**山本委員** 4年生1名と5年生2名とのことですが、実家庭数はいくつですか。

**教育政策課長** 3家庭です。

**山本委員** 廃校になるということで地元にも不安があったかと思います。

良かったと思うのは、保護者の方も地元の方も、全ての方が子どもたちを中心に  
て考え合意に至ったことです。

丁寧な過程を踏んでいただけたのだなと感じました。

**教育長** その他ご質問ございますか。

**根本委員** 次の報告案件にも係ることなのですが、好間第三小学校の案件は廃校で、四  
倉第四幼稚園の案件が休止とあるのですが、こういった違いがあるのですか。

**教育政策課長** 好間第三小学校につきましては、在校生がいて教職員が配置されている  
間に、セレモニー等を含め、閉校に向けた一連の手続きや行事が完了することが肝要  
であることから、今年度を以って廃校としたところでございます。

**教育部長** 委員がお質されたのは、廃校と休校の違いかと思います。

廃校は、学校自体が完全になくなり、通学区域も他校の区域に再編され、それ以降  
入学予定者がいなくなる状態になります。

休校は、入学する児童生徒がいないため、教職員等の配置もありませんが、学校自  
体は存在している状態です。

なので、その通学区域内で入学を希望する児童生徒が出てくれば、再開することも  
可能になります。

**教育長** その他ご質問ございますか。

**蛭田委員** 単純な質問で申し訳ないのですが、好間地区は第一、第二、第三、第四と小  
学校があるのですが、今回第三小学校が廃校になった場合は、第四小学校は改称され  
るのでしょうか。

**教育政策課長** 第一、第二、第四小学校は改称する予定はございません。

**教育長** その他ご質問ございますか。

ということで、好間第三小学校については、再編に向けて、ただいま説明があったスケジュールを進めていくこととなります。

それでは、次に移ります。

教育長の報告（２）四倉第四幼稚園のあり方について、こどもみらい課長お願いします。

**こどもみらい課長** 資料の３頁をお開きください。

１ 四倉第四幼稚園の現状ですが、園児数の推移の表にあるとおり、平成２４年度から園児数が１桁になり、平成２９年度も園児総数は５人となっており、集団教育が困難な状況となっております。

２ これまでの経緯ですが、幼教審からの答申を受け策定した基本方針及び実施計画においては、園児数が２年連続で５０％を下回った園を再編対象とする基準を定め、湯本第二幼稚園、宮幼稚園、四倉第三幼稚園、四倉第四幼稚園の４園を再編対象としました。

湯本第二幼稚園は、平成２９年度から休止しております。

宮幼稚園は、平成２７年度に建物の関係で休止した内町幼稚園の園児を受け入れている事情を鑑み、当面再編の対象から外しております。

基本方針と実施計画に基づき、四倉第四幼稚園の保護者と、平成２２年度から平成２６年度にかけて計６回の協議を実施しましたが、当時は答申の内容に基づき、四倉第三幼稚園との統合という形で進めたところ、統合に賛成・反対とそれぞれの意見があり、まとまりませんでした。

その後の平成２６年度に、子ども・子育て支援新制度の準備等があり、一旦保護者との協議を中断しておりましたが、園児数が１桁の状況が続いていること、平成２９年度の園児数の見込みも５名であったことから、平成２８年度の在園児並びに新規申込者の保護者に対し、今までの状況と市の考え方を改めて説明するとともに、意見交換を行ってまいりました。

その中で保護者の方から、四倉第三幼稚園との統合は望んでいないとの意見をいただきました。

保護者の方としては、統合により吸収されると、転園先は四倉第三幼稚園しか選択できないのでは、という懸念があったようです。

そもそも幼稚園は学区がなく任意に選択でき、転園先も四倉第三幼稚園に限定されない旨を説明したところ、休止に了解をいただき、平成２９年度に改めて意見交換をさせていただくことといたしました。

この時点で、四倉第四幼稚園の再編については、四倉第三幼稚園との統合ではなく、単独で休止という方向になったものでございます。

そういった昨年度の経過を踏まえ、去る９月１１日に、四倉第四幼稚園において保護者４世帯４名と改めて意見交換会を開催しました。

市の説明としましては、これまで説明してきた集団教育の確保等を踏まえ、平成３０年３月を以って休止させていただきたい、その場合他園に転園することとなりますが、できる限り不安等を軽減できるように個別に相談対応させていただきたい

という内容です。

保護者からの主な意見につきましては、特に反対等の意見はなく、今後個別に相談させていただくことで了承いただいたところでございます。

今後の対応につきましては、転園に向けた個別相談に対応するとともに、休止に向けた手続きを進めてまいりたいと考えております。

説明は、以上でございます。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問がありましたらお願いします。

ちなみに四倉第四幼稚園は、大野第二小学校に併設されている幼稚園です。

**山本委員** 平成29年度は3歳児2名、5歳児3名がいて、5歳児のお子さんは来年度小学校に入学しますが、3歳児2名のお子さんはどの地区から通っているかわかりますか。

**こどもみらい課長** 大野第二小学区です。

**山本委員** わかりました。

**教育長** そのほかご質問ございますか。

**根本委員** 先ほどと同じく、こちらは休止となっているのですが、こういった違いがあるのでしょうか。

**こどもみらい課長** いきなり廃止という判断をしなかったのは、幼稚園が地区にとってシンボルになっているということもあります。

実際には、大野第二小学区に住んでいるお子さんは0～2歳児で10名いるかいないかというところで、各学年2、3名ずついます。

ただ、そのお子さんが全員幼稚園に行くとは限らず、現在と同じように推移していくものと思われま。

そういった事情も鑑み、内町幼稚園を休止した際も同様だったのですが、2年程度は様子を見ようということになりまして、一旦は休止とし、状況を大体確認できたところで廃園にするという流れで進めているところでございます。

**馬目委員** 先ほど教育長から四倉第四幼稚園は大野第二小学校に併設しているとのお話がありましたが、今後こういう場合は住所等を記載していただければよいのではないかと思います。

**教育長** その他ございませんか。

こうして見ますと、かつての炭鉱や鉱山であったところが極端に減っている状況であることが分かりますね。

特に好間第三小学校は他の学校に比べ急激に減ったように思います。

複式学級などを抱えている学校につきましては、政策課の方で保護者の方との意見交換などを始めていますので、今後も状況をみながらご報告をしまいたいと思います。

それでは議事に入ります。

議案第1号いわき市立美術館協議会委員の委嘱（補充）について、鈴木文化振興課長説明願います。

**参事兼文化振興課長** 資料5頁をお開き願います。

議案第1号いわき市立美術館協議会委員の委嘱（補充）について。

いわき市立美術館条例第10条第1項の規定に基づき、次の者をいわき市立美術館協議会委員に委嘱する。

平成29年9月20日、いわき市教育委員会教育長。

美術館協議会につきましては、いわき市立美術館条例において、博物館法に基づき設置され、委員は学校教育及び社会教育の関係者や学識経験を有する者から教育委員会が委嘱し、15名以内で組織されています。

任期は2年となっております。

今般の委嘱につきましては、委員の退任に伴い後任を補充するものでございまして、井上直美氏、一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー会長につきまして、斎藤和彦氏の後任として委嘱するものでございます。

任期につきましては、平成29年10月1日から、前任者の残任期間である平成30年3月31日までとなっております。

参考としまして、補充後の委員名簿を記載しております。

説明は以上です。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問がありましたらお願いします。

それではお諮りいたします。

議案第1号いわき市立美術館協議会委員の委嘱（補充）については、提案のとおりとしてよろしいでしょうか

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**教育長** それでは、その他の案件に入ってまいりたいと思います。

本日はその他の案件4件ほどになっております。

(1) 平成29年度いわき総合図書館読書週間事業について、夏井総合図書館長説明願います。

**いわき総合図書館長** 資料の6、7頁をご覧ください。

平成29年度いわき総合図書館読書週間事業についてでございます。

趣旨としては、10月27日から11月9日の読書週間に合わせて事業を実施するものでして、今年度につきましては10月25日に総合図書館が開館10周年を迎えるということで、読書週間事業と開館10周年事業を併せて実施いたしますので、例年よりは規模が大きなものとなっております。

事業の内容ですが、総合図書館開館10周年記念講演会として、作家のあさのあつこさんをお招きしまして、いわき市の中学生・高校生・成人各1名とトークセッション、様々な意見交換を行う内容となっております。

11月11日土曜日、13時30分から15時までの予定で、会場はラトブ6階の企画展示室となっております。

定員は250人です。

また講演会と合わせまして、現在高校生を対象に、あさのあつこさんの作品をイメージするようなポスターを募集しており、その展示会を10月31日から11月17日の間、総合図書館を会場にして実施する予定です。

次に総合図書館開館10周年記念企画展ですが、これは総合図書館の10年間の歩みだけではなく、その前身である中央図書館、さらにその前の平公民館図書部の時代からの様子や、5館の地区図書館、移動図書館の歩みなども展示でご紹介するものです。

会期は11月6日から平成30年5月27日まで、総合図書館5階の企画展示コーナーで開催しております。

それから講習会「絵本をつくろう！」ですが、10月18日と10月25日の2回コース、定員12名で、自分で絵を描いて、それを製本する内容となっております。

それから次がデータベースの活用法を学べる講習会で、商用データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」「ヨミダス文書館」などを使って、新聞の見方、記事の調べ方を学ぶものとなっております。

日時は11月9日、14時から15時30分で、会場は総合図書館4階会議室になります。

講師の先生は、紀伊国屋書店データベース営業部の木村茉論さんです。

説明は以上です。

**教育長** ただいまの説明に対してご質問ございますか。



**根本委員** 総合図書館10周年おめでとうございます。

記念講演会のあさのあつこさんも非常に人気のある作家さんで、楽しみにされている方も多いのではないかと思います。

関連して高校生のポスター展を行うとのことで、現在募集中のことでしたが、どんな方法で応募いただく形になっていますか。

また締切や、作品の入選等を決める形なのかもお聞きしたいです。

**いわき総合図書館長** 募集につきましては、各学校に公文書を送付しております。

それから各高校の図書委員の方の集まりがあった際に出向いて説明し、また図書委員の先生に直接文書を差し上げるなどして募集しております。

賞については設けておりません。

募集締め切りについては確認し後ほどご連絡いたします。

**教育長** その他、ご質問ございますか。

それでは、次に移ります。

その他（２）国指定史跡「中田横穴」の一般公開について、鈴木文化振興課長お願いします。

**参事兼文化振興課長** ８頁をご覧ください。

初めに本事業の趣旨でございますが、国指定史跡「中田横穴」については、古墳時代の6世紀後半の装飾横穴でありまして、昭和45年5月に国の史跡に指定されております。

横穴の奥の壁には、赤と白の顔料により三角文様が三段にわたって描かれており、わが国の装飾横穴を代表するものの一つとされております。

この全国的にも重要な中田横穴を見学いただきまして、市民の方々に本市の歴史や文化遺産に関する認識を深めていただくことを目的に、一般公開を実施するものでございます。

公開日時は10月7日土曜日、13時から15時まででございます。

市民の方へは、市のホームページや報道機関への投げ込みにより周知しております。

なおチラシに記載しておりますが、現地には駐車場がございませんので、近隣の賢沼寺からマイクロバスを運行することとしております。

説明は以上でございます。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問がありましたらお願いします。

**馬目委員** 中田横穴の前を通る度に気がかりだったのが、草がかなり生えており、春と秋くらいは刈った方が良いのかなということと、道路に面していますので、車が

通る際にゴミを捨てる方がいるため、清掃が必要かなと思います。

また、光を照射して奥の壁が見えるようにしてあるのですが、時々不具合があつて消えてしまうという苦情もあるので、そういったメンテナンスもお願いしたいと思います。

**参事兼文化振興課長** 草刈りにつきましては、公開前の来週に実施することとさせていただきます。

お質しいただきました周囲の清掃や照明設備については今後留意して進めていきたいと思います。

ありがとうございました。

**教育長** その他ございませんか。

**蛭田委員** 単純な質問になってしまうのですが、内部に描かれている赤と白の三角文様は、日本ではここだけの特徴ですか。

**埋蔵文化財専門員** 三角文様の特徴につきましては、線刻の縁どりをして、赤と白で塗り分ける三角文様は中田横穴独特のものと認識しております。

神谷作101号墳で出ている、天冠埴輪の天冠の文様と同一構成であると言われております。

**教育長** その他ご質問ございますか。

それでは次に移らせていただきます。

その他(3)いわき市立美術館企画展「ロートレックとベル・エポックの巴里ー1900年」展の開催について、杉浦主幹兼学芸課長お願いします。

**美術館主幹兼学芸課長** 資料の9、10、11頁をご覧ください。

いわき市立美術館では今年の4、5月に、1920年代のパリで時代の寵児として活躍したレオナルド・フジタに関する企画展を実施しました。

今回の展覧会はその前の時代をとりあげるものです。

「ベル・エポック」は良き時代、又は美しき時代と訳されますが、1871年にフランスとロシアとの間の戦争が終わってから1914年に第一次世界大戦が始まるまでの間、パリは平和で産業革命の成果が出て近代化が進むとともに人口が増加し、産業も発展が進みました。

その時代では美術界でも象徴主義やアール・ヌーヴォーなど、数々の新しい芸術表現、美術運動が起こりました。

このベル・エポックの時代の代表的な画家は、パリの夜の世界や社交界の人間模様を巧みに描き出したロートレックですが、彼の作品76点を中心に、ロートレックに影響を与えた画家ドガや、同時代の画家のミュシャ、スタンラン、デュフィらの作品を、全部で300点以上にのぼる版画、水彩画によって、ベル・エポックの

時代を振り返る展覧会となります。

開催期間、会場、企画協力、観覧料については記載のとおりであります。

会期中の催しですけれども、全部で5つございます。

1つ目は講演会ですが、展覧会を監修した河野泰久さんを講師として、「ベル・エポックの作家たちとクール・ジャパン」と題したものを行います。

日時、会場等については記載のとおりです。

2、3つ目はワークショップですが、アリオスとの連携事業になります。

色彩心理研究家の末永蒼生さん、江崎泰子さん、ピアニストのウォン・ウィンツァンさん、コンテンポラリーダンサーのウォン美枝子さんの4名の方を講師にお招きして、1つでは2日間参加可能な中学生以上の方を、もう一方では3歳児以上の親子を対象としております。

内容は、音楽や色彩、体を動かすこと等を通じて、1つでは「自分自身に出会う、幸せの体験」を提案するもので、もう一方では、心身をリラックスさせ、音や色遊び、ダンスを親子で楽しむものであります。

会場、定員等につきましては記載のとおりです。

4、5つ目は、版画家であり武蔵野美術大学通信教育課程の非常勤講師である小森琢己さんを講師にお招きし、公開制作と実技講座を行います。

この方には6月にも、リトグラフの講座で講師としてお招きしております。

日時、参加費、会場等につきましては記載のとおりでございます。

同時開催としまして、この後説明いたします「ニューアートシーン・イン・いわき 片口直樹－聴くことの比喩」展を開催いたします。

説明は以上です。

**教育長** ただ今の説明についてご質問ございますか。

よろしいですか。

それでは次に移ります。

その他（4）いわき市立美術館企画展「ニューアートシーン・イン・いわき 片口直樹－聴くことの比喩」展の開催について、杉浦主幹兼学芸課長お願いします。

**美術館主幹兼学芸課長** 資料の12、13頁をご覧ください。

ニューアートシーン・イン・いわきシリーズについては、平成3年度より開催しておりまして、今回で43回目になります。

このシリーズでは1階のロビーを会場として、市内外の若手の作家をとりあげ、新作、近作を発表していただき、いわきの芸術界に新しい風を呼び込もうとするものです。

今回は茨城大学教育学部准教授の片口直樹さんを取りあげます。

片口さんは学生時代から油彩画を描いている方ですが、近年は絵画の制作過程を定点観察し、作品として仕上げられていく変遷の様子を映像化した作品を発表しております。

今回の展覧会では、そういった近年の作品をご紹介しますのでございます。

また今回はアリオスと連携し、11月23日の13時から20時の限られた時間ですけれども、アリオスの小劇場でも作品を展示します。

開催期間、会場、主催、観覧料、出品点数は記載のとおりです。

会期中の催しとしまして、アリオスの小劇場で作品の特別展示を行うのですが、アーティスト・トークとしまして、作家の片口直樹さんのほか、制作協力した横田将士さん、当館副館長の平野明彦によるトークショーを行います。

説明は以上です。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問がありましたらお願いします。

**根本委員** 片口直樹さんは、いわきと縁のある方なのですか。

**美術館主幹兼学芸課長** 片口直樹さんは特別いわきと深い関わりのある方ではございません。

この「ニューアートシーン・イン・いわき」のシリーズでは市内外で活躍する若い作家をとりあげており、市外の方をお呼びし、それによっていわきの美術界に新しい風を呼び込もうという企画でございます。

**教育長** その他ございますか。

以上でその他の案件は終了ですが、全体として何かございますか。

**根本委員** 戻ってしまうんですが、読書週間事業のポスター展について、図書委員さんに呼びかけているとのことだったのですが、誰が出しても良いということであれば、例えば美術部員で描きたいという方もいるかもしれませんし、あさのあつこさんのファンもいるかなと思いました。

まだ時間があれば、もう少し広く、高校生が広く活躍する場の提供になるのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。

**教育長** そのほかご質問ございますか。

それでは、全ての案件が終了しましたので、以上をもちまして平成29年度第6回教育委員会を閉会いたします。

( 署 名 ) 教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

議事録調製